3. 保健学研究科における3つのポリシー

アドミッション・ポリシー
本研究科は、社会情勢の変化・ニーズに応えうる地域医療の提供、地域や住民の特性を活かした医療実践による医療の質向上に貢献できるような資質を持った人材を求めている。具体的には、「地域・生活向上支援学領域」「健康増進・障害予防学領域」「保健学教育・組織マネジメント領域」の 3 つの専門領域において活躍できる高度専門職業人、または教育者・研究者の養成を目指す。 このような観点から、以下のような能力と意欲を備えた人の入学を期待する。 1） 文理問わず、学士課程レベルの基礎的な知識・技術を有している又はこれに相当する社会人としての経験を有している。 2）保健学全般に関心を持ち、高度専門職業人、または教育研究者として、その実践と発展に貢献する意欲を持っている。 3）論理的思考と柔軟な発想、グローバルな視野をもって探求する意欲を持っている。 4）論理的な感受性と判断力をもって行動する能力を有している。 5）協調性をもって積極的に意見を表明できる能力を有している。
カリキュラム・ポリシー
本研究科では、教育目的、ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を養成するために、以下の方針に基づき教育課程を体系的に編成、実施する。 1）本研究科の研究領域として、「地域・生活向上支援学領域」「健康増進・障害予防学領域」「保健学教育・組織マネジメント領域」の 3 つの研究領域を設けている。これらの研究領域ごとに、研究を推進できるカリキュラム編成にする。 2）人の健康増進や生活向上に係る基礎的要素を涵養して新たな保健学の追求を図る上で必要な幅広い知識が修得できるように、特別研究、専門科目群とは別に、必修科目として共通科目群全 6 科目と支持科目群から 1 科目を、選択科目として支持科目群から 12 科目を配置する。 3）ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能を修得するために、選択する研究領域ごとにコースワークとリサーチワークを適切に組み合わせることが可能なカリキュラム編成を行う。
ディプロマ・ポリシー
本研究科では、高度な専門的知識と研究能力及び優れた実践力を身につけさせることによって、地域社会の中で中心となって活躍できる人材の養成を教育目的としている。 この教育目的を達成するために、以下のような能力を備えた人材に修士（保健学）の学位を授与する。 ○3 つの領域共通で身に付けるべき能力 1）研究者、教育者、又は高度の専門職業人として保健学関連領域における研究課題を発見し、分析・評価し、科学的根拠を探求して新たなケア技術やシステムを創出できる研究力 2）地域社会での質の高いケアの提供のため、自身がリーダーシップをとり、異なった専門的背景をもつ専門職と、同じ目標に向けて連携していくためのファシリテーション能力 3）保健学の専門的な学術理論と実践の融合を図り、社会に対して新たな知見を提案できる能力 ○3 つの領域ごとに身に付けるべき能力 1）地域・生活向上支援学領域では、超高齢化社会やさまざまな社会的変化に対応するための、地域・生活向上支援に関する幅広い専門的知識と研究能力、そして実践する力 2）健康増進・障害予防学領域では、健康寿命延伸に対応するための、健康増進及び障害予防に関する幅広い専門的知識と研究能力、さらに実践する力 3）保健学教育・組織マネジメント領域は、医療現場で、「人材を育成、活用」しうるリーダーの育成に対応するための、保健学教育に関する専門的知識と研究・開発能力と、組織におけるマネジメントに関する幅広い専門的知識と研究能力、実践する力。 これらの能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査に合格した者に修士（保健学）の学位を授与する。